

5 伝統的な食文化や琵琶湖疏水及び古都京都の文化財など新たな世界遺産登録に向けた取組への支援

(文化庁)

歴史都市・京都には、平成6年12月に世界遺産として登録された「古都京都の文化財」を構成する17件の社寺・城のうち14件が所在しています。

平成24年度は世界遺産条約採択40周年を迎え、その最終会合が京都市で開催されることから、世界遺産をはじめとした文化・自然遺産を保護、継承していくことの重要性を再認識しようとする機運が高まっています。

こうした中、既に登録されている世界遺産に匹敵する価値を有する数多くの文化遺産と美しい景観を追加登録し、京都の歴史的、伝統的な景観や文化、文化財の素晴らしさを世界に発信するとともに、人類共通の財産を守り、育て、未来に伝えていくことを目的として、京都市では、世界遺産の追加登録に向けた調査・検討を実施しています。

この調査過程で、日本の近代化遺産を代表する「琵琶湖疏水」が、京都岡崎及び南禅寺界隈に造られた日本を代表する別邸群や美術館・動物園などとともに、文化的景観の重要なファクターであることが認識され、世界遺産の候補の一つになり得ると考えています。

また、国におかれましては、現在、「和食；日本人の伝統的な食文化」の世界無形文化遺産への登録に向けた取組を進められているところではありますが、長い歴史の中で種々の手法を凝らして作り上げられた京料理をはじめとする京の食文化は、まさに日本の伝統的な食文化を代表するものであります。

つきましては、数多くある京都の歴史的・文化的資産から新たな世界遺産となりうるものを選定し、世界に向けて日本の文化を発信するために、次のとおり提案します。

提案事項

京都における新たな世界遺産の登録に向けた支援

所管の省庁課：文化庁（文化財部記念物課）

京都市の担当課：文化市民局 文化財保護課長 北田栄造 TEL 075-366-1498

産業観光局 商工部 産業政策課長 原昭彦 TEL 075-222-3325

京都における世界遺産

世界遺産「古都京都の文化財」17 社寺・城

賀茂別雷神社（上賀茂神社）、賀茂御祖神社（下鴨神社）、教王護国寺（東寺）、清水寺、延暦寺（滋賀県）、醍醐寺、仁和寺、平等院（宇治市）、宇治上神社（宇治市）、高山寺、西芳寺（苔寺）、天龍寺、鹿苑寺（金閣寺）、慈照寺（銀閣寺）、龍安寺、本願寺（西本願寺）、二条城

ユネスコ無形文化遺産

京都祇園祭の山鉾行事 平成 21 年 9 月登録

新たな世界遺産登録への取組

- 市内に所在する世界遺産 14 社寺・城に匹敵する文化財の世界遺産への追加登録
- 琵琶湖疏水

明治 18 (1885) 年 着工

明治 23 (1890) 年 完成

- ・ 1200 年を超える歴史を持つ京都において、当時最新の技術を取り入れた疏水
- ・ 京都の風土に溶け込み、景観を形づくっており、京都における名所の一つ
- ・ 琵琶湖疏水は今もなお、京都に琵琶湖の水を供給



琵琶湖疏水 水路閣



琵琶湖疏水 インクライン

➡ 岡崎及び南禅寺界わいの別邸群等とともに文化的景観の重要な構成要素！
世界遺産登録に向けた取組の支援を！

- 和食；日本人の伝統的な食文化

平成 24 年 3 月 ユネスコ無形文化遺産に登録申請

「和食」を食事という空間のなかで「自然の尊重」という精神を表現している「社会的習慣」として提案。

➡ 京都を中心とした仏寺の宗教的料理や茶の湯の席での料理は、「和食」の重要な構成要素！ 申請を契機に、世界へ「和食」の普及を！